

報道関係各位

2024年9月2日

「モノづくりを通じて広く社会に貢献する」証券コード：6167

「モノづくり体感スタジアム 2024」に初出展 ～超硬合金製工具・金型の製造工程を体験できるプログラムで 子どもたちにもものづくりの面白さを伝える～

超硬合金製耐摩耗工具・金型製造の国内トップシェア、富士ダイス株式会社は、東京都立産業貿易センター浜松町館で開催された体験型イベント「モノづくり体感スタジアム 2024」（主催：モノづくり日本会議、日刊工業新聞社）に初出展し、8月3日（土）に子ども向けワークショップを実施しました。

ワークショップのタイトルは、「命を吹き込め！キーホルダー作りで金型体験！」。子どもたちは、金型を使ってレザーを型抜きし、自分で磨いたアルミ板を組み合わせたキーホルダーを製作しました。



【出来上がったキーホルダーを持つ子どもたち】

◆子どもたちが、超硬合金製工具・金型の製造工程の一部を体験◆

ワークショップでは、まずはスタッフが超硬合金の特長や製造工程を紹介し、「金型がピカピカだとツルツルするから摩耗に強くなって、金属に穴をあけたり曲げたりしても壊れにくい」と説明をしてから、キーホルダー作りをスタートしました。

子どもたちはレザーの色と抜型を選び、スタッフと一緒に型抜きをした後に、アルミ板をヤスリで「だんだんピカピカになってきた！」と一生懸命に磨いていました。仕上げにアルファベットの刻印をスタッフが入れてキーホルダーが完成しました。



【スタッフと一緒に型抜き】



【真剣にアルミを磨く子どもたち】

参加した子どもたちからは「磨くのが面白かった!」との感想が多く寄せられました。一緒に参加した保護者からは「こんなに夢中になって磨くと思わなかった」と、子どもの知らなかった一面を発見できたとの声がありました。

当社の金型は、飲料缶やカメラレンズなど、身の回りにある様々な製品の製造に使われていますが、消費者に届く最終製品ではないため、一般の方々の知名度が高くないという課題があります。今回、ワークショップに参加した親子も当社の名前を知らないという方々がほとんどでしたが、参加後には展示している金型を興味深く見ていました。



【展示品を囲む参加者たち】

富士ダイスは、11月30日（土）に開催される「おおたオープンファクトリー2024」にするなど、今後も未来を担う子どもたちに向けて「ものづくりの楽しさ」を伝える活動を続けてまいります。

◆「モノづくり体感スタジアム 2024」について◆

モノづくり日本会議と日刊工業新聞社が主催する子ども向けの体験型イベントです。体験型のワークショップを通じて次世代を担う子どもたちにモノづくりや理科、科学への興味・関心を喚起することに加え、創造力やコミュニケーション能力、課題解決能力を養うことを目的に、モノづくり日本会議の会員企業の有する子ども向けのコンテンツを一堂に会する「モノづくり体感スタジアム」を2009年から実施しています。

詳細はホームページ（<https://mono-stu.jp/>）をご覧ください。

◆富士ダイス株式会社について◆

富士ダイスは、創業75年、超合金製工具・金型メーカーです。素材開発力・精密加工技術に強みを持ち、国内のみならず海外2か国に生産拠点を展開し、国内トップシェアを誇っています。販売は直販体制を取り、お客様の個別のニーズに応じて、原料粉末の調製、焼結、機械加工、製品検査まで一貫生産体制で、幅広い業種のお客様とお取引させていただいています。

詳細はホームページ（<https://www.fujidie.co.jp/>）をご覧ください。

【報道各位からのお問い合わせ先】

富士ダイス株式会社
企画部

TEL : 03-3759-7183

E-Mail : prir.common@fujidie.co.jp